

世界的なインフレが 為替相場に与える影響

今井 雅人

ウクライナ情勢の本質

- 1991年 ソ連の崩壊
アメリカとの口約束
その後、東欧諸国が次々にNATOに加盟
- 2014年 ウクライナ国内で政変
ゼレンスキー政権誕生
クリミア侵攻

ウクライナ周辺のロシア部隊

■ 親ロシア派が支配する地域 ○ ロシア軍が展開

● モスクワ



(出典 日本経済新聞社)

ロシア側の要求

1. ウクライナの非武装、中立化
2. ゼレンスキー政権からの交代
3. クリミアの独立承認
4. ドネツク・ルガンスク共和国の拡大と承認

ロシアに対する債券

1. イタリア	2 5 3 億ドル
2. フランス	2 5 2 億ドル
3. オーストリア	1 7 5 億ドル
4. アメリカ	1 4 7 億ドル
5. 日本	9 6 億ドル
6. ドイツ	8 1 億ドル
7. オランダ	6 6 億ドル
8. スイス	3 7 億ドル

エネルギー EUのロシア依存度

天然ガス 46%

原油 25%

→欧州委員会

ロシア産天然ガスの依存度を年内に約6割低下させ、
2030年よりかなり前に依存度をゼロにする

各国のロシアに対する経済制裁

- ・ 欧米諸国は、資産凍結、輸出入制限、**SWIFT**からの除外
- ・ **G7**は「最恵国待遇」からロシアを除外
- ・ **IMF**や世銀などからの融資を受けられない措置

地政学リスクに対する市場の反応

これまでの常識

リスクオフからの株安→円高

* 円の安全神話とかつての低金利のイメージ

今回の市場

株安→欧州安、オセアニア通貨高 円は中立

日経平均



(出典 楽天証券)

NYダウ平均株価



(出典 楽天証券)

金価格 (COMEX)



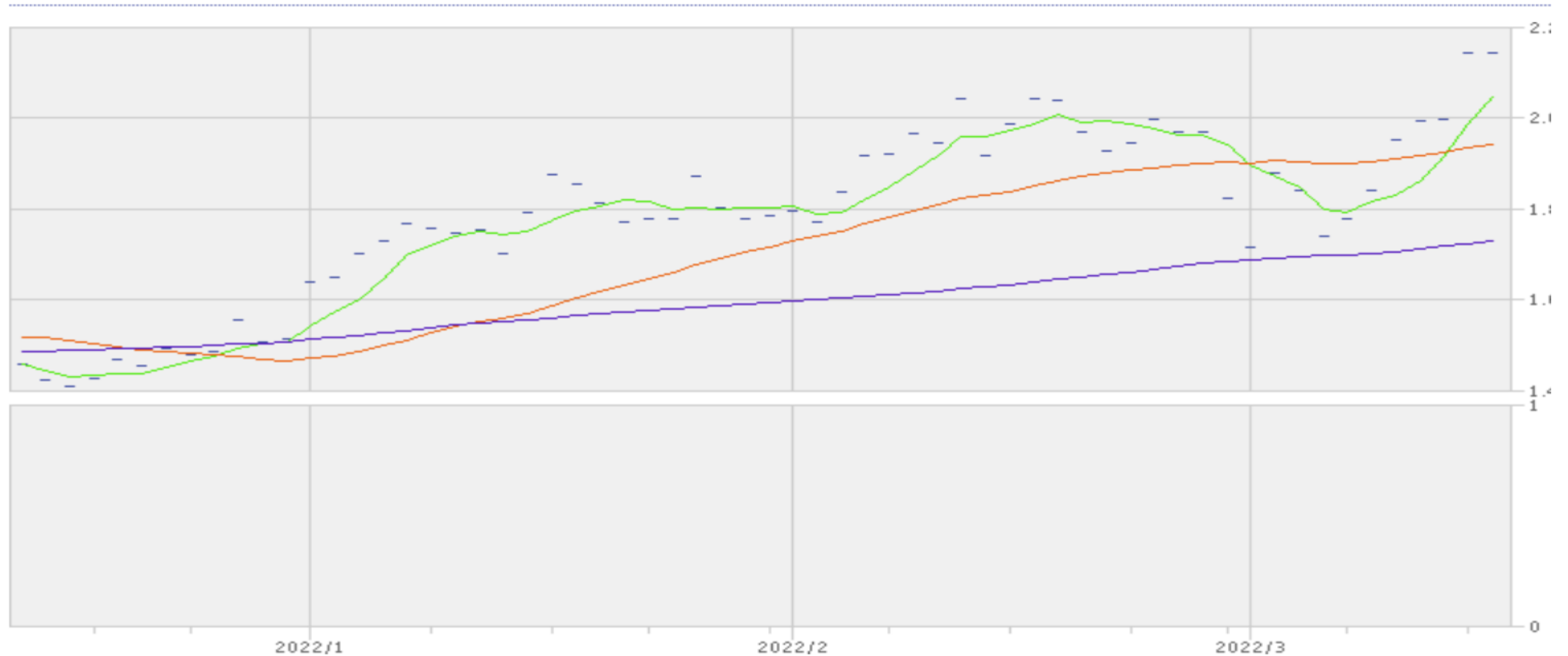
(出典 楽天証券)

WTI原油価格



(出典 楽天証券)

アメリカ国債10年利回り



(出典 楽天証券)

何故リスクオフの円高にならないのか

考えうる2つの可能性

1. ドル需要が円高圧力を相殺
2. 資源価格高騰による貿易収支の悪化

直近の日本の貿易収支

令和4年1月分については、輸出は鉄鋼、鉱物性燃料等が増加し、対前年同月比+9.6%の増加となった。
また、輸入は原粗油、石炭等が増加し、+39.6%の増加となった。
その結果、差引額は▲2兆1,911億円となった。

●総額

輸 出	金 額	6兆 3,320億円	+ 9.6%	11ヵ月連続の増加
	数量指数	87.2	▲ 3.9%	3ヵ月ぶりの減少
輸 入	金 額	8兆 5,231億円	+39.6%	12ヵ月連続の増加
	数量指数	109.1	+ 4.9%	3ヵ月連続の増加
差 引	金 額	▲ 2兆 1,911億円	+569.7%	6ヵ月連続の赤字

(注)伸率及び増加・減少は、断りなき場合は、対前年同月比による。

世界的なインフレ傾向

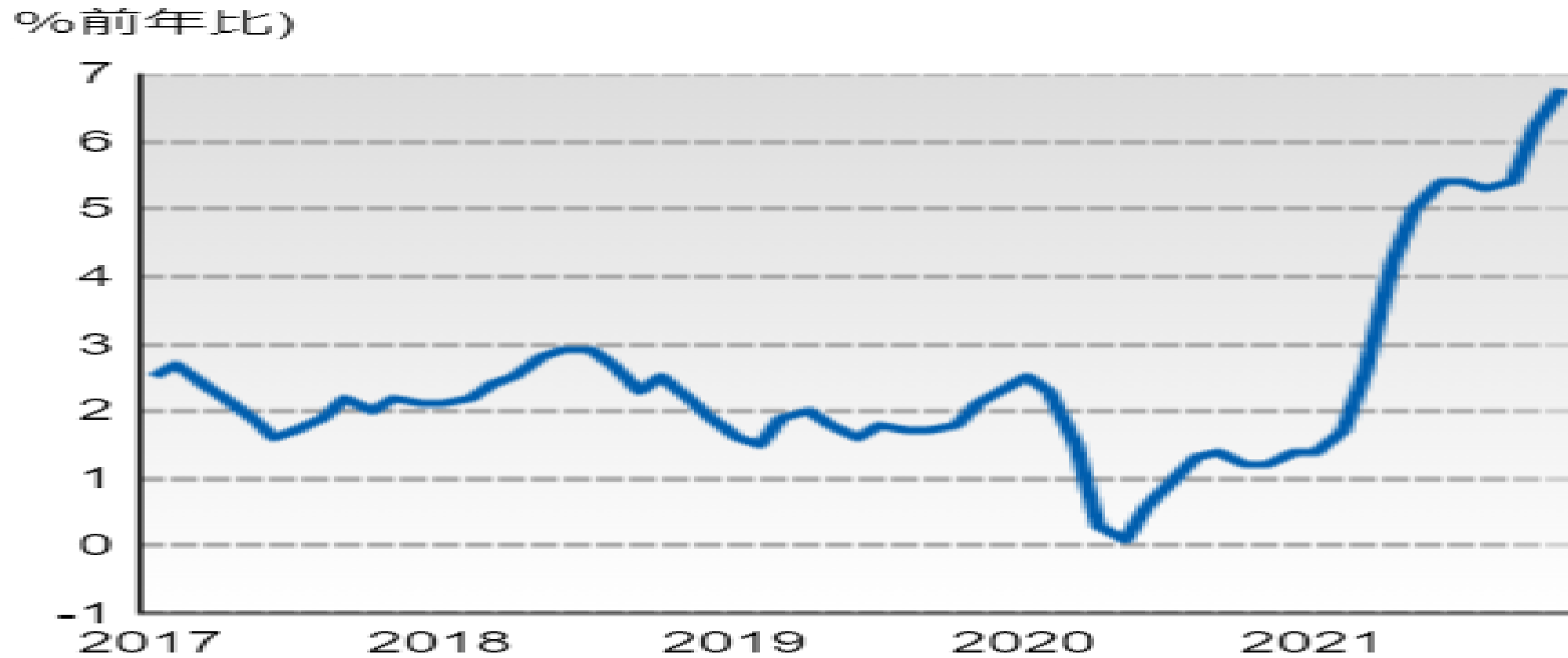
元々、コロナ対策による世界的な緩和政策などにより
需給バランスの崩れにより、インフレ加速

そこに、ウクライナ問題で、資源価格が高騰し、
インフレ懸念が更に高まる。

各国の金融政策に違い

- FOMC 今月から利上げ開始
毎回0.25%の利上げを実施していく可能性
- ECB 資産買い入れプログラムを今年第3四半期に終了
その後については、未定
- BOE 昨年12月、2月に0.25%それぞれ利上げ
資産の段階的縮小も決定
- BOJ 2月0.25%での「指値オペ」実施
金融引き締めへの転換に慎重

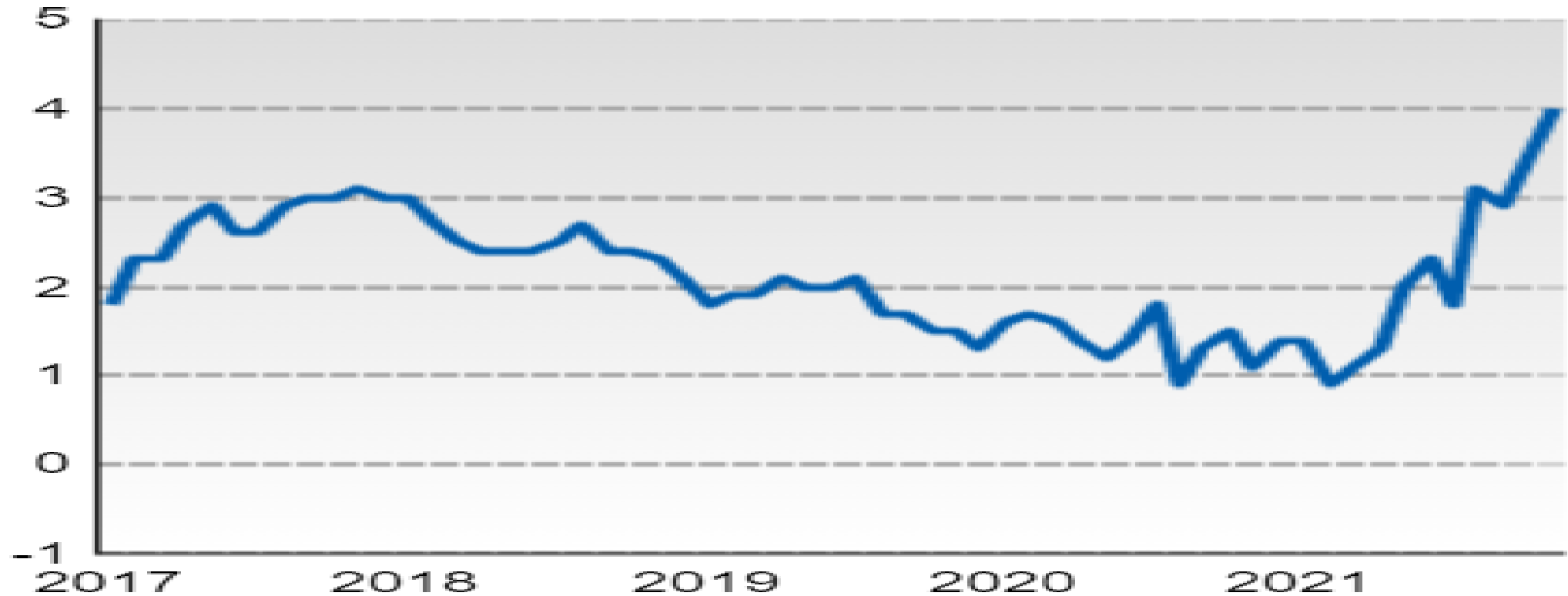
アメリカの消費者物価指数



(出典 楽天証券)

イギリスの消費者物価指数

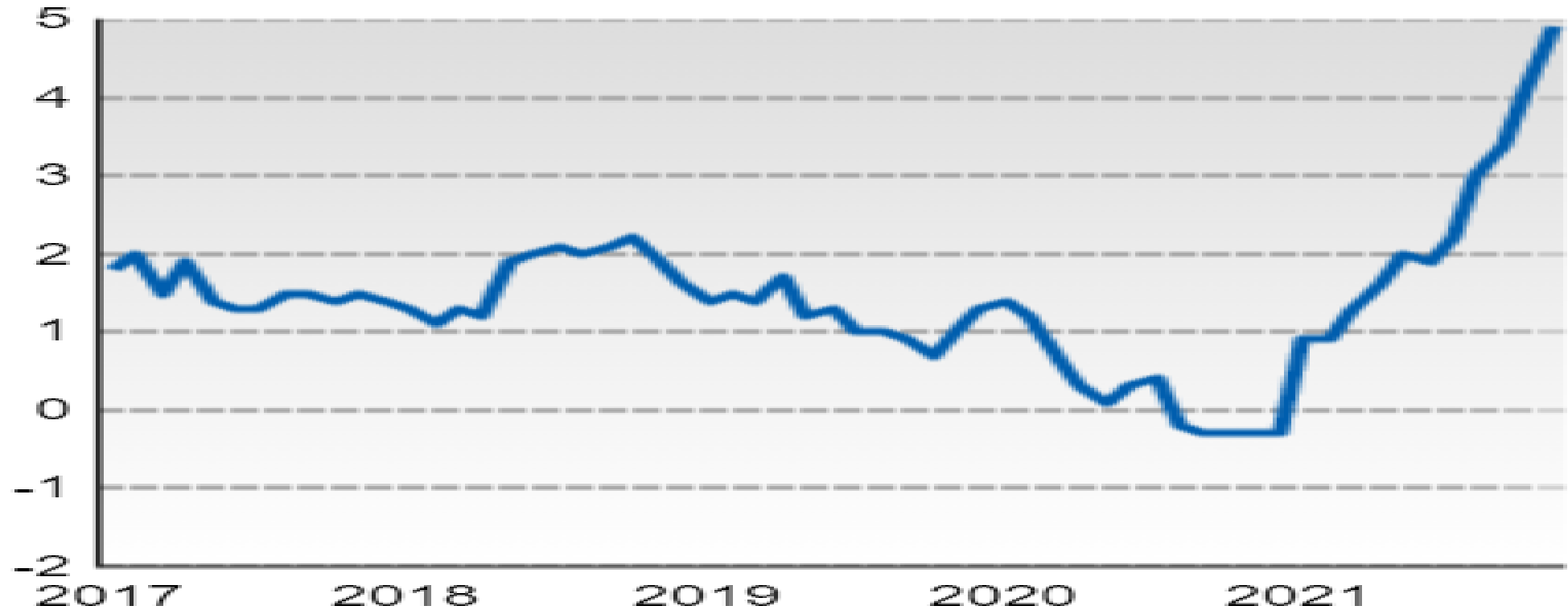
(%前年比)



(出典 楽天証券)

EUの消費者物価指数

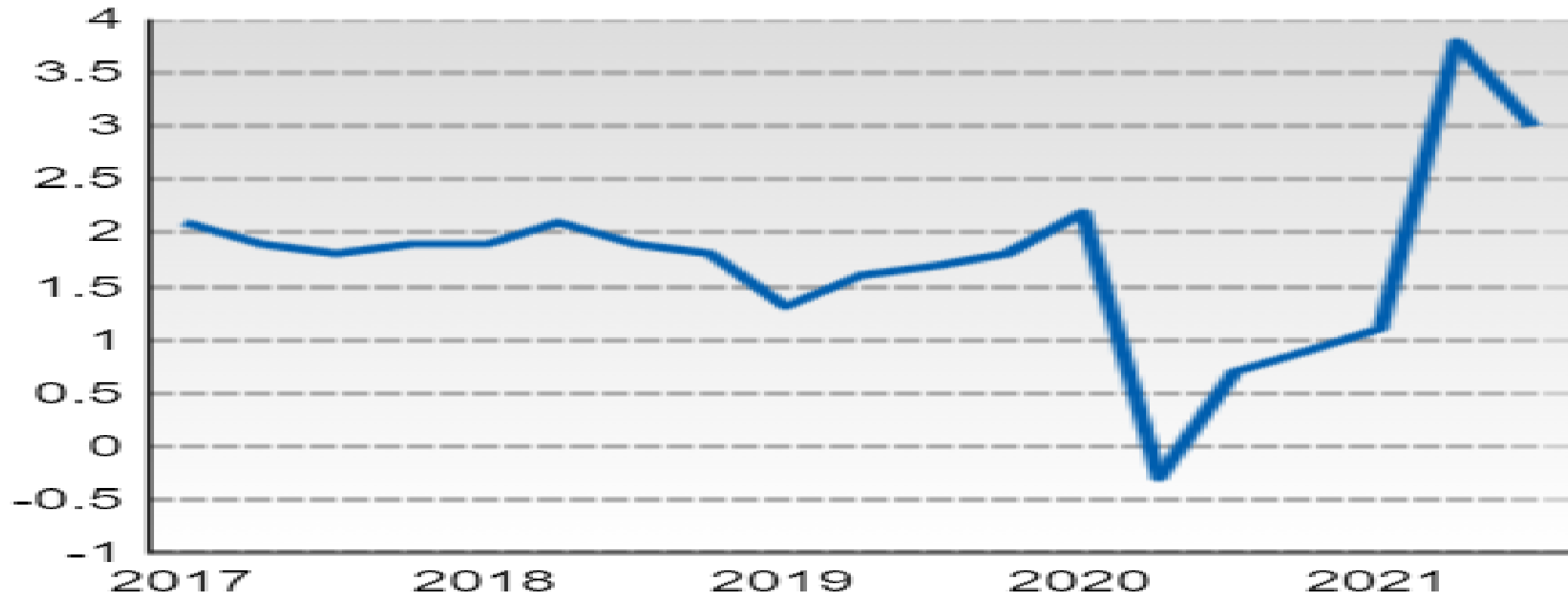
(%前年比)



(出典 楽天証券)

オーストラリアの消費者物価指数

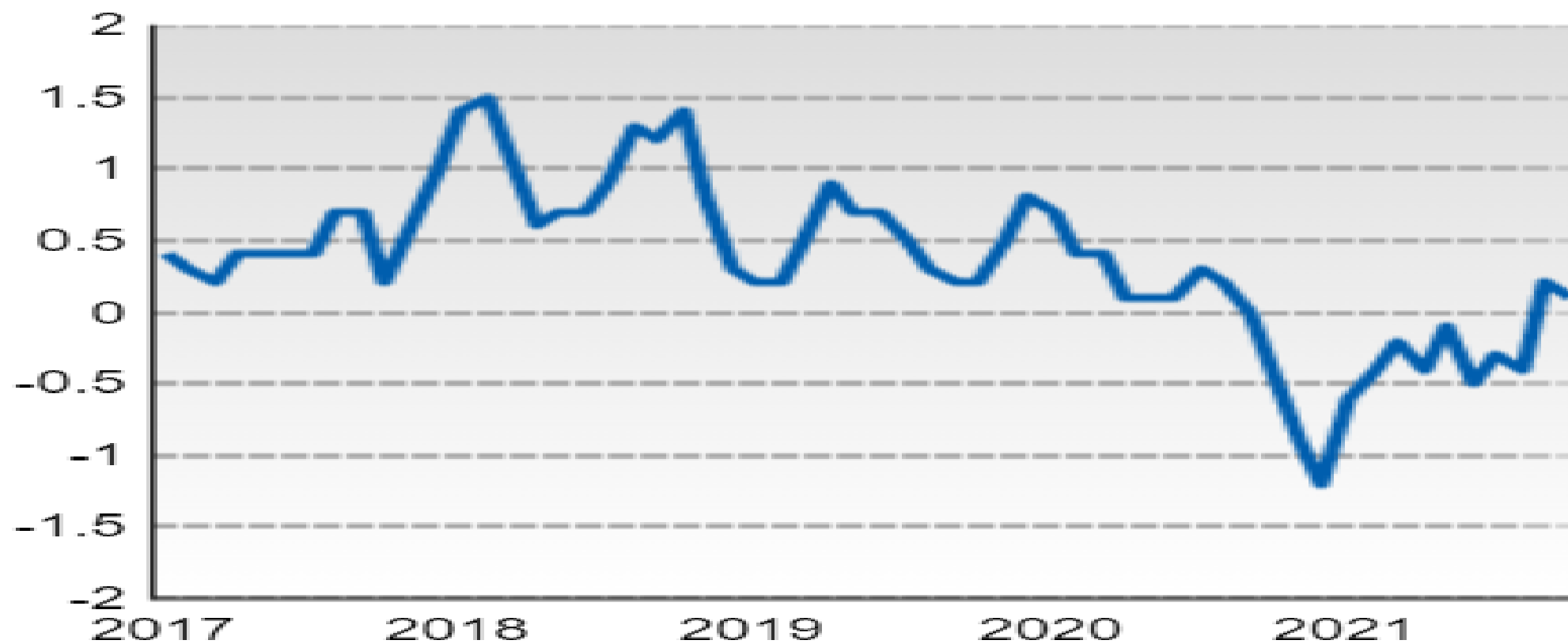
(%前年比)



(出典 楽天証券)

日本の消費者物価指数

(%前年比)



(出典 楽天証券)

今後のインフレ見通し

- ・ 各国の財政は急激な緊縮という状況にはない
- ・ 各国は金融引き締めには舵を切っているが、Too late
- ・ インフレの鎮静化はなかなか実現できず、利上げペースを上げざる得なくなってくる可能性高い。

謎が多いポジション動向

- ドル円のロング（円ショート）が多いのは妥当
- ユーロドルロングが解消されていないのは不思議
- 豪ドルドルショートが解消されていないのは不思議

今後のベースシナリオ

- ・ウクライナ情勢は長期化する可能性高い
- ・株価の反発は弱い
- ・ユーロ安は続く
- ・ドル円は120円を目指す
- ・資源価格の高止まりは続き、資源国通貨は今後も堅調

外国為替証拠金取引（FX）のリスクと費用等について

外国為替証拠金取引(FX)の取引にかかるリスク

外国為替証拠金取引（FX）は、取引通貨の価格変動や、スワップポイントの支払いにより、損失が生じるおそれがあります。また、外国為替証拠金取引（FX）は少額の証拠金で、その差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。また、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

外国為替証拠金取引（FX）の取引にかかる費用等

外国為替証拠金取引（FX）の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各通貨の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。スプレッドは通貨ペアごとに異なります。

証拠金について

〔楽天FX口座〕レバレッジコースに応じて取引金額の4%～100%(最大レバレッジ25倍)の証拠金が必要となります。

(法人のお客様の場合は、取引金額に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

〔楽天MT4口座〕想定元本の4%以上の証拠金が必要となります。(法人のお客様の場合は、想定元本に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

*当社は、金融先物取引業協会が算出した「為替リスク想定比率」以上となる証拠金率を通貨ペアごとに定めております。「為替リスク想定比率」とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを使い算出されるものです。

スプレッドについて【（例外あり）について】

通常時は広告表示のスプレッドでお取引いただいておりますが、為替市場における取引高の低下又は売買が一方向に集中しているなどの状況においてはスプレッドが広がる場合があります。また、広告表示の値は実際の取引時のスプレッドを保証するものではなく、お客様の約定結果による実質的なスプレッドが広告表示の値と合致しない場合がありますのでご注意ください。なお、スプレッドの拡大は、以下のような状況において発生する場合があります。

- 平日早朝時（概ね6時30分～7時30分※サマータイム期間中は一時間繰り上がります）
- 国内外の金融市場休場日（海外のクリスマス休暇や年末年始など）
- 主要経済指標の発表前後
- 震災などの天変地異や政変又は金融・経済関連の重大な出来事などの突発事象の発生時

■ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありませんのでご了解ください。

お客様よりご提示いただきました情報以外で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではありません。尚、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませお願い申し上げます。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかるリスクと費用等について

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかるリスク

当社の取扱う店頭通貨バイナリーオプションは満期時（判定時刻）に権利が自動行使されるヨーロピアンタイプのオプション取引です。取引対象である通貨の価格変動が予測通りとなった場合には利益が得られることもある反面、予想が外れ権利が消滅した場合、支払ったオプションの購入金額を全額失うこととなります。また、オプションの購入価格と売却価格には差（スプレッド）があり売却時に損失を被る可能性があります。

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかる費用等

店頭通貨バイナリーオプション取引の取引手数料は無料です。

オプションの購入価格について

1枚あたりの最大購入価格は999円です。

■ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありませんのでご了解ください。

お客様よりご提示いただきました情報以外で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではありません。尚、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませお願い申し上げます。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

店頭CFD取引にかかるリスクと費用等について

CFD取引にかかるリスク

CFD取引は、お取引の対象となる銘柄の価格変動、金利相当額、配当相当額、価格調整額の支払い、各国の経済、社会情勢、金融政策、金融指標等の変動により損失が生じるおそれがあり、投資元本が保証されたものではありません。また、CFD取引は差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため大きな損失が発生する可能性があります、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

CFD取引にかかる費用等

CFD取引の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各銘柄の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。スプレッドは銘柄ごとに異なります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

証拠金について

株価指数CFDは個人口座、法人口座とも取引の額に対して10%以上、商品CFDは個人口座、法人口座とも取引の額に対して5%以上の証拠金が必要となります。

■ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありませんのでご了解ください。

お客様よりご提示いただきました情報以外で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではありません。尚、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会